



超小型人工衛星「ベニバナサット」

開発をベースにした

新しい産業の再設計

【講話概要】

急激な人口減・高齢化社会、そしてAIに代表される技術革新の波で大きく変わる産業構造にも負けない豊かな地域をつくるための提案です。

2040年までに県民参加のベニバナサットシリーズの開発を通して、山形を宇宙県にして若者を呼び込み、県内の若者が県内に安心して就職できる環境をつくっていききたい思いを話させていただきます。

講師プロフィール

山形大学客員教授

(一財)森の学校 理事

ベニバナサット開発プロジェクト PM

柴田 孝

(しばた たかし)

1946年、山形県米沢市生まれ。東北学院大学卒業後、NECにてパソコンをはじめとする情報機器の開発・製造、事業運営に長年携わり、執行役員などを歴任。2007年から山形大学で産学連携に取り組み、地域企業の経営革新やものづくり人材の育成を支援。企業経営と技術開発の豊富な経験を生かし、地域産業の活性化と次世代人材の育成に尽力している。

現在、山形県米沢興譲館高校SSH運営指導委員、山形県生産基盤強化支援協議会アドバイザー、新庄信用金庫顧問、山形大学客員教授、超小型人工衛星「ベニバナサット」プロジェクトのプロジェクトマネジャー。

三大目的



①山形の産業へ：山形の産業振興・ベンチャー育成を図ります

②山形に人材を：山形で育った人材を山形に残し、山形に引き付けていきます

③山形を元気に：山形県民・山形大学に夢と活力を与えます

2026

9.17

木

6:30 - 7:30

会場

協同組合 米沢総合卸売センター

P-PAL(ピーパル)

米沢市中田町760 TEL.0238-37-4300

参加費

セミナー無料、朝食会(要予約)500円

ベニバナサット開発が目指す
3つの未来

参加申込書

申し込み締切：2026年9月16日(水)

※朝食を伴う場合は、16日(水)午前中厳守

FAX 0238-40-8322

会社名					
参加者名		セミナー	参加・不参加	朝食会 (会費500円)	参加・不参加
参加者名		セミナー	参加・不参加	朝食会 (会費500円)	参加・不参加